西東京市シルバー人材センター広報紙

シルバー西東京

第 138 号
平成 28 年 1 月 15 日　発行

公益社団法人
西東京市シルバー人材センター
東京都西東京市中町 1-6-8
（保谷東分庁舎内）
TEL.042-425-6611　FAX.042-425-6644
メールアドレス　wtokyo1@sjc.ne.jp
http://www.wtokyo.or.jp/

写真提供　：　芝久保２班　関 行裕さん

平成28年を迎えて

当センター名誉会長
西東京市長　丸山　浩一

あけましておめでとうございます。

西東京市シルバー人材センター会員の皆様に、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、スポーツ庁が昨年の体育の日に合わせて発表した「平成26年度体力・運動能力調査」の結果によりますと、65歳以上の方の体力・運動能力は、過去最高の水準であり、調査開始からほぼ右肩上がりで上昇しているとのことでした。ご高齢になっても、なお、お元気で活発に活動されている方が増えているということは、大変喜ばしいことです。

少子高齢化、人口減少が進むこれからの日本では、お元気なご高齢の方々に、引き続きご活躍いただくことが期待されております。「元気で活発な高齢者が活躍する場所」・「働くことを通じた高齢者の皆様の生きがいづくりの場所」として、活力ある地域づくりに貢献されているシルバー人材センターの役割は、今後ますます重要になっていくものと考えます。

「健康応援都市」をめざす本市といたしましても、引き続き「いつまでも健康で元気に暮らせるまちづくり」を進めてまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びに関係者の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年にあたっての挨拶とさせていただきます。

夢　多き年に

公益社団法人 西東京市シルバー人材センター
代表理事 会長 渡邊　康生

あけましておめでとうございます。

高齢化社会を支える担い手として、全国的にシルバー人材センターに対する期待が高まってきております。私たちはこの期待をセンターの事業として実現し、地域社会の要請に応えて行かなければなりません。

会員の皆さんの日頃の誠実な就業や活動が、市民の皆様から評価され信頼されて、今日の仕事が維持継続できております。このことが、当センターの受注の原点です。今年も真摯な活動を守り育てて、就業の開拓にも繋げてまいりましょう。

昨年介護保険法が改正施行され、必要な人への支援と介護予防などに市民の役割が広がりました。当センターの生活支援サービスなどの分野で果たすべき使命が大きくなったことを認識して事業の展開を検討し、人材の育成と組織体制の整備を図る必要があります。

私たちの現在の就業は「請負契約」によっています。これに対し、人材派遣事業への取り組みが全国規模で進められています。東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）では既に人材派遣事業者（本部）の届け出を済ませ、都内の3センターを派遣元事業所（支部）にするという仕組みで実践を始めています。私たちもこの人材派遣＝「雇用契約」に基づく事業について鋭意研究を進めて行きたいと考えます。

今年は大胆に夢を追う年にしたいものです。皆様が健康で、幸多い年になりますよう、お祈り申しあげます。

新年にあたって

常務理事 事務局長 村野　啓二

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、9月～10月にかけて開催されたラグビーW杯での日本の活躍は記憶に残るものでした。特に五郎丸選手はキックをする前のポーズが話題を集めるなど一躍時の人となりました。

11月にはパリで同時多発テロ事件が発生し、多くの方が犠牲になりました。日本でも同様の事件が起こらないとは限りません。何をすべきか、何ができるかわかりませんが平和を願うばかりです。

本年に目を向けると、夏の参議院選挙から公職選挙法の改正で投票年齢が18歳以上になります。若者の声が政治に反映されることが期待されているところですが、若者の意識はどうか、投票率はどうなるか注目したいところです。

さて、シルバー人材センターの近年の状況を見ますと、全国的に会員数は減少傾向で、事業実績も停滞しておりますが、当センターも同様の傾向があります。

今後、センターを健全に発展させていくためには新たな仕事を開拓し、会員を増やし、請け負った仕事をお客様に満足していただけるように行い、地域の皆様から信頼を得ていくことがこれまで以上に大切になっています。

一人ひとりの会員が誇りを持って就業し、会員が皆仲良く、仕事を通じて地域との連携を深めながら一層発展することを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

基本３ヵ年計画　初年度の進行状況

年明けとともに当センターは今年度の第４四半期に入りました。

今期は基本３ヵ年計画の初年度であります。この計画は当センターの身の丈に合った実現可能な内容を目指して策定され、毎年度検証し、更新することとされました。期の途中ではありますが、残り３ヵ月となったこの時期に、基本３ヵ年計画の進行管理の視点から、課題ごとに今期の活動を整理しておこうと思います。

理　事　会　一　同

活気ある輝く年に！

（役員写真）

円内：石橋

後列：藤倉、柳沢、平田、佐藤、堀、海老

中列：山田、長谷川、藤井、長尾、平山、小松、徳山、大河原（監事）、菊池

前列：横内、簾内、渡邊、澤田、白瀬（監事）、村野

1. 会　員

会員数については前期末の１割増を目指しましたが、難しい状況です。その原因を分析することが大切です。会員の資質の向上については地域班会議、各種の研修会やボランテイアなどの活動を通じて図られてまいりました。地域班長会議は年４回開催を予定し、役員・班長の意思疎通とセンターの課題の共通認識を深めてきました。

2. 組　織

各委員会・部会は、それぞれの最優先課題に取り組んでいます。引き続き地域班の活動および班会議の活性化、会員の能力開発、安全・安心対策、ボランテイア活動への積極的参加などを促進します。

広報活動についてはニュースの発行、ホームページでの発信、会員募集を主目的にしたチラシの作成配布をしてきました。また市民文化祭、市民まつりなど大きな行事に参加してPRにも努めました。さらに効果的な情報発信を検討することが大切です。

3. 就　業

安全就業について講習、研修、点検・巡視などの取組みを強化してきました。適正就業については請負契約遵守を徹底するとともに、市民の信頼を得られるよう誠実な活動に努めました。

生活支援サービスの供給体制の強化はこれからです。

就業管理システムの構築は試行の段階から、会員の皆さんの理解を得たうえで本番に移行したいところまで来ています。

仕事別グループリーダーの会議および研修会を行い、役割の理解と活性化に努めました。なお、大小合わせて207か所受託している公園・児童遊園のグループ化（６グループ各６名）を実施しました。

4. 事　務　局

親切な対応、会員が利用しやすい事務局の体制に、引き続き努めてまいります。

就業斡旋のシステム化

事業推進委員会では、平成25年10月の組織改編を契機に適正就業の一環として、「就業斡旋のシステム化」の構築を課題に掲げ1年有余の検討結果、平成26年度から試行的に運用を開始した。その骨子は、就業期間及び就業年齢制限に伴う交代要員の公募に当たりポイント制の採用、即ち「就業面接マニュアル」による「センターへの貢献ポイント」及び「理事面接ポイント」の合計点上位者から就業斡旋を実施していくこととした。

2年目にあたる平成27年度は、応募会員に対する更なる公平性を担保するため、理事会での指摘等を勘案した「修正マニュアル」の作成と、新たに定期公募以外で年度内での就業希望会員に対し「就業意向調査票」の提出を依頼し、欠員の補充、新規受託に対しての就業斡旋のデータとして採用していくこととした。

尚、3年目にあたる平成28年度は、2年間の実施結果の検証と更なる改善点を検討し、本格運用の定着化を図っていきたい。

（事業推進委員会）

平成27年11月・12月　定例理事会報告

11月12日・12月25日開催

今春の就業期間及び就業年齢制限による交代のスケジュールは、順調に進められています。12月14日・16日の交代職種、就業意向調査票説明会には、88名の会員が参加されました。交代要員公募は1月8日に締切りました。今後は、1月25日～29日応募者面接、2月中旬交代要員決定、3月研修を経て4月1日から実施のはこびとなります。

一、大河原、白瀬両監事による**上半期の中間監査**が11月17日に実施され、指摘すべき事項はないとの報告を受けました。

二、10月26日・29日の両日、**転倒予防講座**が西東京市・保健福祉総合センター機能訓練室で開催されました。受講者は、公園清掃就業会員、安全管理委員合わせて40名でした。

三、**昨秋の市民まつり**には、当センターから150名の会員が参加し、まつりの運営に協力しました。（別掲）

四、**入会説明会**は、例年8月休会としていますが、28年から毎月実施することになりました。

五、11月4日、**学校関連の新就業会員研修会**がセンター会議室で開催されました。・学童交通擁護　11名　・学校施設管理　10名　・校地内外清掃　7名　が参加しました。

六、12月12日・19日の両日、エコプラザ西東京において、女性部会員の指導による**市民向け「毛糸の帽子作り」講習会を**実施し、40名が参加しました。3月5日（土）、12日（土）には**「布ぞうり講習会」**を実施します。

七、11月25日、**AED講習会**が西東京消防署で実施され14名が参加しました。

ねんりん（No.137号）ふるさとへの想い

私のふるさとは福島県南部に位置する小さな町です。

東京オリンピックが開催された昭和39年に上京、50年余が経ちましたが未だに私の「ふるさと愛」は健在です。ふるさとを有する皆さんも想いは同じかと。

在郷当時、我家は8人家族、農家で食べることには事欠かなかったが決して楽な生活ではなかったようです。両親は朝飯前から暗くなるまで田畑で働きずくめ、中・高生当時土日はいつも手伝いを強いられ、農家でない街中の友を羨ましく思ったものです。お陰で丈夫な身体、強い精神力等が培われたと今は親に感謝していますが、その親も亡くなり寂しい限りです。

71歳になり、年々帰郷する回数も少なくなりましたが「ふるさとを想う心はいささかも変わらず」です。

九州出身の妻曰く「福島は自然に恵まれ、東京にも近く、皆で知恵やアイディアを出し合い振興を図ればもっと素晴らしい町に発展し、今以上に誇れるふるさとになるのでは…」と。

同感する反面、昔と変わらない山や川、いつまでも素朴な町であって欲しいと勝手に思う気もあり複雑です。

今年も両親、祖父母の眠るふるさとに赴き、家族が健康で無事にいられることへの感謝を報告してきたいと思っています。

（理事　小松　啓）

「就業制限」に伴う交代要員の募集公示

就業期間及び就業年齢制限で平成28年3月31日をもって交代となる会員に対し、平成27年11月25日付で、就業期間の満了通知が発令されるとともに、その該当職種に対する交代要員の募集が公示されました。

募集対象は、19職種75名（プラスアルファ）となっており、それに対する応募可能会員は平成27年10月31日現在の純未就業会員を含め571名となりました。4月からの該当職種を希望する方は「公募申込票」に記入し提出いただきます。

なお、諸般の事情等で平成28年4月からの就業に応募できない会員でも年度内の就業を希望される場合は、欠員補充策の選考資料としての「就業意向調査票」の提出をお願いしております。

公募申込分は1月25日～29日に面接し4月からの就業体制を固めます。

平成 27 年の歩み

1 月　会員新年会（シチズン時計食堂）
2 月　第 5 地域理事監事研修会（アスタ市民ホール）
　第 4 回地域班長会議
　AED 講習会（2 月、6 月、11 月）
　市民向け手芸講習会（2 月、6 月、12 月）
3 月　新就業会員研修会
　田無駅踏切見守りボランティア
4 月　春の地域合同パトロール
　第 1 回地域班長会議
5 月　田無駅踏切見守りボランティア
　市主催ごみゼロ運動
　平成 26 年度会計・業務監査
6 月　第 5 回定時総会（こもれびホール）
　公園・児童遊園維持管理就業者会議
7 月　市報等配布事業就業者研修会
　第 2 回地域班長会議
　田無駅踏切見守りボランティア
　田無警察署より感謝状
9 月　安全就業優良シルバー人材センター表彰（財団）
　「会員のしおり」改訂し全会員に配布
　第 5 地域理事監事研修会(三鷹ＳＣ会議室)
　田無駅踏切見守りボランティア
　高齢者クラブ主催ごみゼロ運動
10 月　第 3 回地域班長会議
　第 15 回市民文化祭参加（柳沢公民館）
　秋の地域合同パトロール
　田無駅踏切見守りボランティア
　転倒予防講座
11 月　第 15 回市民まつり参加（いこいの森公園）
　学校関係就業者研修会
　放置自転車等整理指導就業者研修会
12 月　就業制限に伴う交代説明会
　田無駅踏切見守りボランティア
　田無警察署より感謝状

第４回地域班長会議の開催

日時　：　平成２８年２月１２日（金）
　　９時３０分～
場所　：　センター事業運営室
　　詳細は追って連絡されます

下の写真は、第３回地域班長会議時の集合写真。
４つの圏域を２つずつにまとめて撮影しました。

北東部・中部圏域の地域班長

西部・南部圏域の地域班長

特集

新理事、新地域班長・副班長さんからの声

年頭にあたって一言

丙申（ひのえさる）縁起

理事　海老　洋

申とは猿、我が国では、古く山王日吉神社のお使い、馬の守護役ともされてきました。

中国の古書によれば、「丙」は、「物皆成リテ明ラカナルサマ」、また、「申」は、「陰気ノ伸ビル意」と説いています。「陽気の発揚」と「陰気の支配」一見矛盾する字義は、錯綜する内外情勢の複雑さを示唆するようにも見えます。

「猿知恵」ではなく、見識を深め、調和を図り、より良きものを産み出す叡智を、皆で発揮できる一年にしましょう。

三六会（さぶろくかい）

理事　菊池　佳次

昭和36年、高卒の新入社員の男達で作った三六会も今年で54年、18歳の若者も今や髭をはやした黄門様、髪の毛よどこへいったヘアスタイルの高齢者に。今年もきました14人の楽しい旅が。10月に一泊で福島、スパリゾートハワイアンズでフラダンスを楽しみ、ついでに袋田の滝、塩屋崎灯台を散策しながらドライブインに着く度トイレタイムの為、目的地着2時間遅れもありましたが楽しい旅でした。三六会よ永遠に、そして三六会のまたの名、サボロー会よ、次は新年会で。

正　夢　？

理事　徳山　巌

今、私は90才を過ぎ、晴れた日は毎日元気で駅前附近を清掃している。規則正しい張りのある生活をしている。日本人の健康寿命は80才以上になっている。

あの頃（平成27・28年）シルバー会員を大募集し、仕事の種類は増加し、就業機会も多くなった。ボランティア活動、要介護1・2のサポート、家事援助サービス、民間事業等の新規事業を開拓したお陰であった。そして就業や会議を通じて、西東京地元の仲間も増え、生涯の友達もできていてみんな元気である。

こんな理想的な17年先の老後を夢見て、シルバー生活をしていくのも、正夢であってほしいものです。

三猿（さんえん）

理事　長尾　月子

市民文化祭、沢山の作品が展示され、お客様も大勢来場していただきました。

布ぞうりの作り方実演、体験にもチャレンジしてもらい、私の所では、折紙で干支の申を体験してもらいました。平成28年申年、昔は、「見ざる言わざる 聞かざる」を今ふうに変えてみました。

「見ます 話します 聞きます」

これができれば素晴らしいと思いませんか。これからも会員の皆様と一緒に協力し合い一歩一歩前進して行きたいと思っています。

元気の源

理事　長谷川　美佐保

シルバーへ入会し色々な職場を紹介されて今も続いているのが月2回の市報の仕分けです。重さと枚数を正確に揃えるのにかなり苦労しましたが、健康と体力と仲間に助けられ、一時でも早くと皆で協力し合い働いている和やかな職場です。その合間には「歩く会」への参加が楽しみで毎年1月には『七福神めぐり』から始まります。

皆さん健脚で景色を眺めていると置いて行かれる事もありますが、優しい会員とリーダーに感謝しつつ心の張りを得ています。

懐かしい人へ

理事　平山　紀美子

遠いとおい記憶の中から甦ってくるのです。娘が5～6歳の頃義母が亡くなり介護も終り、私は仕事につきました。幸いなことに職場と家が近く昼休みには家に戻れたが「鍵っ子」にはしたくなかった。当時の高齢者事業団の会員さんに留守番をお願いした。心配りの優しいその方とはお互いに信頼しあえるようになり、私が帰宅すると娘が飛びついて言うのです。

「気持ちが悪くて吐いてしまったの、おばさんが沢山拭いてくれて布団も洗ってくれて」

娘はどんなに心強かったか、私は感謝しても感謝しきれませんでした。人生半ばにしてシルバー人材センターとの出会いでした。

40年余りの時を経て昨日の事のように今も脳裏に胸の中から離れることはありません。

もういない人、懐かしい人、ありがとう。私の内での家事援助の泉はここにあり。

思　い　出

理事　平田　昇

都内葛飾区から千葉県柏市へ3歳で疎開し、10歳で赤羽へ転居しました。疎開時は食料難で、自宅で取れた米等は税金として供出し、主食は麦ばかりのゴハン、サツマイモでしたが、苦い経験として記憶しております。

その後学業を終え、国内・海外に数多くの生産・販売拠点を抱える会社へ就職し、当時は、設備・経費・人事管理を大型コンピュータで行い、高額な通信費を支払っていましたが、各国の通信会社の協力で安価なデジタル回線へ切り替え、現在のインターネットの初期を経験しました。

尺八づくり

ひばりが丘1班　山寺　養蔵

シルバー人材センターへ入会し、始めたのが　体力作りです。そこで、休日は西武線の所沢で下車し徒歩で多摩湖のホトリに向かいました。そこで尺八を吹く人に出会いその美しい音色に惹かれて聴き入り、私にも尺八作りやその吹奏が出来そうだと夢が膨らみ、多摩湖近くの竹林のある農家のご主人から竹を頂き自作で尺八を完成させました。

東久留米湧水の橋の上で吹いていたら、全国尺八演奏会で優勝した方と同様な演奏と言われ、嬉しく自作の尺八を友人へ提供しました。友人も演奏仲間を拡大して、休日には川岸で演奏を楽しんでおります。

私の日課

ひばりが丘2班　荒川　洋一

私は現在1日置きに仕事をしています。そして仕事が休みの日は早足での散歩を楽しんでいます。自宅を起点として5つのコースを自分で設定して、気分次第で好きなコースを選んで散歩をします。コース内では色々な変化があり何も考える事なく景色を楽しみながら歩きます。

何もかも忘れて頭の中がカラッポになり充分な休養とストレスの発散ができ、自宅に戻ると非常にゆったりした気分になりますので、今後も続けたいと思っています。

年頭にあたって

住吉町班　平野　善武

入会してから早7年を迎えます。年齢を重ねると月日の経つのが早く感じられます。

大好きな落語から小噺を一つ。

「ある時、月と星と　太陽が一緒に旅をし、ある旅籠に泊まり、3人は酒を飲みながら楽しい夜を過ごしました。次の朝、星が目を覚ますと隣の月と太陽のフトンは空っぽです。女中に尋ねたところ、月と太陽は早朝宿をたちましたとの事。そこで星は「ああ、月日（太陽）の経つ（立つ）のは早いものだ…」

今年も時間を大切に使いたいと思っています。

ウォーキングのお勧め

ひばりが丘2班　河村　勝治

定年と共にウォーキングを始めました。歩くのは誰でも出来るスポーツだと思います。

月に2度は所属する協会が企画するコース（15ｋｍ）にも参加しています。

春夏秋冬、変わりゆく風景を目にする時は最高に心地よいです。車目線の眺めとは違う発見もあります。庚申塚や地蔵さん、小さな神社やお宮さん、そっと手を合わせます。すれ違う人達との挨拶にも元気を貰います。

近くでも楽しめるウォーキングを始めませんか？

孫とじいじ

住吉町班　小沼　武雄

シルバー会員になって満1年、4月に住吉町の副班長、そして6月には企画総務委員（総務部会）まで仰せつかりました。非力ではありますが目下奮闘中です。

それにつけても、各所で出会う諸先輩達の、バイタリティ豊かさに感服しています。働けることが活力・健康維持の原点と悟りました。

保谷駅北口の放置自転車指導の余暇に、仙台と伊勢にいる2人の孫の顔を見がてら旅行を楽しんでいます。私も、市民に親しまれる会員になりたいと思います。

私は班長一年生

泉町2班　蓼沼　雄一郎

私は長と呼ばれるのは、現役の時以来久し振りである。シルバーという環境の中で、会員を果たしてうまくまとめ上げることが出来るか不安であった。ただ自分から進んで会員に呼びかけることでお願い事もスムーズに出来ると思った。

また町で出会った場合でも、最近の話題等で少しでも私自身を知ってもらう努力をした。班会議ではリラックス体操等をして体をほぐし会員が気楽に発言しやすい様にしたことはよかったと思う。

これからも会員の為にもう少し頑張りたいと思う。

シルバーパス

柳沢2班　千葉　幸子

シルバーパスの更新手続きを何年かしている。書類が揃っていれば2～3分で完了する手続きだが、なぜか2回も3回も足を運んで来られてようやくという方もいる。「残念ですが今日は手続きできませんね」とお帰りいただく時は心が痛む。昨年手続きした方がお元気で来られると思わず嬉しくなって「またお会いできましたね」と声をかけたくなる。

そんな私が今年シルバーパスデビューをした。都内での小さな旅を計画しようと思っている。楽しくなりそうだ。

仕事と健康

泉町２班　大山　鉄太郎

退職後３年間、自由を満喫していたら身体が緩んできたように思えた。

縁があって、平成26年４月より住吉小の施設管理の仕事をすることとなった。３日に１日の仕事は負担が軽く体調は良好となった。昨年10月の70歳の誕生月に健康診断を受診した。結果は、初めて異常なしであった。前年より２項目も改善したのである。

適度な仕事は、身体に良い影響を与えたのだろう。今後とも感謝して仕事をしていきたい。

繋がりを

東町班　北村　武彦

ＳＣに入会し本年５月で満６年となります。今まで班活動、ＳＣの行事にできる限り参加させていただき、多くの方々と繋がりができ、また班長をお受けしてからさらに範囲が広がりました。

会員の入退会等で、班によっては数年の内に多くの方が替わってしまいます。

日頃の付合い、班活動・ＳＣの行事への参加等で面識がある以外、残念ながら班員同士でも顔が判らないのではないでしょうか。

いい繋がりを持つ手段と捉えて、班活動・ＳＣの行事にできる範囲で係わっていこうではありませんか。

市報配布

東町班　宮本　博

市報配布をすることになって７ヶ月、最初は軽い気持ちで引き受けたがとんでもなかった。たった200部そこそこ簡単と思いきやセットに手間と時間が掛かり、配布の時もドアポストや郵便箱が新聞やチラシでいっぱい、他の配布物でゴミ箱状態。片付けて欲しいと思う。

最近やっと慣れてきて楽しいとまでは思わないが、声が出せるようになった。「市報です」と…。

まだ雨には遭っていないが、今後雨対策も考えておかないと濡らしては大変…。

大（過去）中（現在）小（未来）

中町１班　榎本　武雄

私がシルバー人材センターという所があると知ったのは、町でバッタリ会った同級生との会話からでした。級友は「オマン（方言です）、今仕事何しているの？」、級友は「今シルバーセンターに入会して就業しているから、君も入会した方が良いよ」と言われて、すぐ入会手続きをさせて頂きました。

それから早や５年が過ぎようとしています。平成27年度は職場のリーダーを務めさせていただきましたが、それも３月で終りです。

次はどんな就業先があるのか、不安と希望がいっぱいの今日この頃の心境です。でも未来に向けてシルバーパワーで元気に頑張りたいと思います。皆さんも頑張りましょう。

今年もよろしく

中町２班　吉本　多恵子

昨年９月に約50年を隔て高校のクラス会をしました。65歳を過ぎ仕事をリタイアした級友達が集まり計画を立て、土曜日のお昼から夜まで楽しみました。学生時代の友は会ったとたんは戸惑っても、すぐ昔に戻ります。担任の先生に叱られた事や修学旅行で徹夜して翌日のバスの中で寝た事等々…。

今年もクラス会を楽しみたいと思っています。皆程々の元気で今年もよろしく、そしてずっとこれからもよろしくと願いを込めて…。

妙高 秋のガイドツアー

中町２班　尾嶋 光教

私は今まで小学校の校地清掃や学童擁護を７年間やってきました。そこで子供に関する話をします。

先日、私の故郷新潟県妙高市の小学校が経産省の指定を受け、６年生の子供達が地域の発展と観光に資するため、「妙高、秋のガイドツアー」を実施したので参加しました。郷人会の参加者20名と生徒20名がマンツーマンでパートナーになり、バスで１泊２日の地元名所と妙高高原の紅葉巡りが無料でした。

天候にも恵まれ、子供達の案内も上手で孫との旅のようでした。

日々研鑽の心構えで

西原町２班　菅野 邦昭

70台後半に入りますが、日常生活においてどうしても『まあ～いいか』となる自分に鞭を打つつもりでシルバーに入会し、６年が過ぎました。

就業場所は駐車場ですが、来客には誠心誠意対応し、トラブル・事故等が起こらないよう心がけております。時にはお客様から、「大変ね。暑いから気をつけてね。」などの挨拶をいただくことが励みとなり、元気の源となっております。

熊野古道 ウォーキング考

谷戸町２班　小菅 保夫

ウォーキングを始めて彼此30数年になりますが、最近ウォークした『黄泉がえり』の地、熊野古道（熊野本宮大社、熊野那智大社、熊野速玉大社の三山）は、10世紀からの上皇の熊野御幸から始まり、女人にも開かれた聖地であったため、彼女らは熊野参詣曼荼羅などの絵解きをしながら信仰の功徳を説いた。戦国時代の『洛中洛外図』などその活躍の様子が描かれています。

ふと今日を考えると全国津々浦々女人が各地で悦々跋扈（エツエツバッコ）横行している様を見るにつけ『我々シルバー男性会員』も頑張ろうと思う今日この頃です。

一人酒場で飲む酒

田無町２班　陣内 義則

現在67歳になる趣味を持たない私ですが、毎日ではありませんが、近くの居酒屋で一杯やるのを日課としています。同席した常連客と世間話をしながら異業種交流をしています。政治・宗教・野球の話は致しません。酒場放浪記ではありませんが、はしごも致しません。

シルバー人材センターに入会して一番感心したことは、私より年上の皆様が元気に活動されていることです。まずは健康が一番ですね。

市報配布の就業

田無町２班　浜野 恵子

平成26年３月に第１回目の市報配布を始め、２回目に突入しようとまさにその時事故にあい左手親指を複雑骨折して手術を受け、１年後に復帰して27年の４月から再スタートしています。拠点に配布物を取りに２往復から３往復かかり、家に運び入れたら仕分けして各家庭に配布します。慣れない時は大変でしたが、要領をつかむとスムーズに時間も短縮する事ができるようになりました。私よりも年上の人達が一生懸命仕事をされている姿を見てすごいと思いました。私も元気な間は頑張ろうと思います。

真剣に考えよう！

保谷町１班　高木 秀成

地球には、数えきれない生物が共存しています。その中の人間が増上慢になり過ぎ自分勝手の行動の結果、地球温暖化が進み異常気象で大雨、大洪水、鉄砲水、山崩れ、竜巻等の災害が多発して生態系が破壊され、とても恐ろしいです。

また、福島の原発事故があったのにまだ再稼働している。原発は即、すべて無くすべきです。この先必ず想定外の大地震が起きるのが心配です。

４年後オリンピックもあり、未来のために皆で知恵を出して真剣に考えてみようよ。

仕事の合間の楽しみ

西原町２班　小町谷 孝吉

一昨年班会議において新班長選出の話題が持ち上がり他人事とうそぶいていたところ、白羽の矢がグサリと刺さってしまいました。

前任の正・副班長さん、新副班長さん、会員皆さんのサポートのもと班長をやっております。他班の班会議出席率 80％超えとはいきませんが、先ずは超 50％を目標にしたいと思います。

シルバーや班長の仕事の合間、狭いスペースを駆使して植物を育てるのが楽しみの一つです。昨年はアジアンタムが大変よく育ちました。その写真です。

地域との関わり

東伏見班　岡本　静夫

退職の１年後に入会致しました。早々に放置自転車関連に就業させていただき１年半になります。市民の皆様の協力で歩道放置が激減しております。

また、市報で募集のあった将棋クラブにも入会し皆様と交流を深めています。20 年以上ブランクがありましたが、何とか指せるようになりました。

現役時代は会社人間で、地域の方とは全く接点がありませんでしたが、シルバーの仕事仲間、将棋仲間との飲み会が地域のネットワーク作りに格好です。

孫が百人

保谷町１班　鎌形　廣

シルバーに入会して早くも５年になります。交通擁護の仕事を頂きました。初め不安でしたが、慣れてくると面白くなりました。

子供たちは正直です、自分の孫だと思って接すると、色々お話してくれます。先生や友達の事等々。５年も続けていると上は中・高校生も挨拶してくれます。何故交通擁護の仕事が敬遠されるのか分かりません。

私の孫は４人ですが、外孫が百人増えたみたいで楽しいですよ！皆さんやってみませんか。

凧と平和

東伏見班　塚越　一巳

お正月なので空に揚がる凧の話をしましょう。

凧揚げは私の趣味の一つです。風が吹けば小金井公園に行って、自作の凧を何人かの仲間と揚げています。仲間の中に新聞記者をやっていた人がおり、ある時その人がぽつんと言いました。「凧なんて平和な所でしかできないんだよ」と…。

多くの戦場を見てきた人の言葉にドキッ！としました。この国がいつまでも凧揚げができる国であって欲しいと心から願っております。

市民まつり　パレード・女性部会ブース等で参加

昨年11月14・15の両日、「西東京市民まつり」が行われ、一日目後半から2日目朝は、雨模様の天気でしたが、多くの来場者で賑わいました。このおまつりの運営には、当センターから約150名の会員が、主に裏方で協力をしたほか、パレード、女性部会ブース、お仕事紹介や会員募集のチラシ配布などで表舞台でも積極的に参加しました。

会場内の2張りのテントでは、女性部会が作品の展示即売を、広報部会が仕事宣伝と入会案内が表裏になったチラシの配布をし、会場の内外では駐輪場、道路交通の安全整理、ごみ分別指導などに会員が活躍しました。

また、前年からパレードにも参加、ひばりヶ丘駅前から会場のいこいの森公園まで行進しました。

女性部会ブース

当センターのパレード

【職場訪問】

家事援助・生活支援サービス事業　コーディネーター

市民の暮らしをお手伝いする「家事援助」は平成８年６月に、リビングサポートを主体とした「生活支援」は２５年４月にスタートし、当センターの女性就業の大きな部分を占めています。

この事業を円滑に運営するため、発注者と就業会員の橋渡しをするコーディネーターは、現在７名（別表）で、登録会員は現在３３０名、就業者が約７０名です。

今回はコーディネーターの皆様に仕事についてお話を伺いました。

市内のご家庭から電話等で仕事の依頼を受けると、事務局は担当地域のコーディネーターに連絡、コーディネーターは登録会員の中から就業できる方を探し、就業者と一緒に発注者のご家庭に伺い、仕事内容や条件等を確認し契約を成立させます。

一番ご苦労されていることは、登録会員がすでに他で就業中とか、仕事内容や場所により就業者がなかなか見つからない時だそうです。

コーディネーターの皆様は、通常の仕事のほか、新規登録者の面談、財団・第５ブロックの講習会、地域班会議等に出席し、事業のＰＲ、会員とのコミュニケーションに努めています。また、チラシ配布で受注を、入会説明会で登録会員の増加を図っています。

この事業は、お客様との信頼関係が大切なため、今後は就業者を対象に研修会を計画したいとのことでした。

お話を伺い、高齢者や共働き世帯が増えている現在、「家事援助・生活支援」はＳＣの就業先として拡大のチャンスもあり、今後コーディネーターの仕事は増々重要視されるのではと感じました。

コーディネーターの担当地域（敬称略）

氏　名	担当地域
土橋　祥子	北町・下保谷・栄町・ひばりが丘北
寒河江　昭	ひばりが丘・保谷町・東伏見・柳沢
小畠　節子	住吉町・泉町・東町
堀内　紀子	中町・富士町
横山　節子	谷戸町・緑町・北原町・西原町
＊平山紀美子	田無町・芝久保町
相原　昭子	南町・新町・向台町

＊　：　職群担当理事

（広報部会　古屋記）

【安全コラム】今年の目標

シルバーの皆様もご存知のように、一昔前までは交通戦争と言われ毎年1万人前後の人達が犠牲になっていました。現在では交通事故の犠牲者は、年間4、000人台となり、「ほっと」したのですが、今度はシルバー世代の転倒問題が台頭してきました。

現在、年間7、000人以上の人が転倒で病院に運ばれています。そのうち「86%」の人が65歳以上の人で、このことが発端となり、不自由な介護生活に入る人が多いそうです。また、転倒の「60%」が自宅で発生しています。

自分でも気がつかないうちに、「筋力」「バランス感覚」の衰えが原因のようです。これは大変だという事で各自治体では、独自の転倒防止運動の強化を行っています。

当センターでも西東京市健康課の協力を得て強化講習を行っています。今後、開催する「転倒予防講座」にぜひ参加されるようお願いいたします。

（安全管理委員　日野　延彦）

【安全標語】財団優秀賞

T字路は　止まるに優る　対策なし

泉町　簾内　正一

２７年　傷害事故・賠償事故　（１月～１２月）

＜傷害事故＞

発生日	作業名	事故発生状況
2月16日	スーパー清掃作業	就業先へ向かう途中、交差点で高校生の乗った自転車とぶつかり転倒し、左膝お皿の部分の骨折をした。
2月21日	自転車関連就業者研修会	研修会に向かう途中、道路歩道の若干隆起している所で躓き、前向きに転倒した際右膝を強打し、右膝及び右膝下肢の骨折をした。
2月23日	民間駐輪場管理	就業後自転車で帰宅途中、右折しようとしたとき車に気づき、急ブレーキをかけ、止まろうとしたが路肩に足が着かず転倒、腰椎圧迫骨折した。
3月30日	郵便物整理	就業後、徒歩で帰宅途中に躓き転倒。顔面強打、脳しんとうで意識を失い、どなたかの通報で救急車にて搬送された。顔面創傷と鼻骨骨折。
4月30日	屋内清掃作業	寮の3階の廊下にある乾燥機の中のゴミを、踏台に乗って掃除機をかけていた時に、踏台が動き転落、右手を床について右手首を骨折してしまった。
6月16日	公園清掃	自転車の前後にゴミ袋を乗せて移動し集積所に到着。ゴミ袋を自転車から降ろす時に足元がふらつきゴミもろとも後ろ向きに転倒し、臀部と頭部を打った。
7月10日	校地内外清掃	垣根を伐採した後、葉を棒で叩き落していた作業中、少し後方に移動する際、足元に敷いていたマットの角に足が引っ掛かり転倒。体を右腕で支えた時に骨折。救急車で搬送された。
9月 1日	校地内外清掃	廊下清掃中、床に足を取られ転倒。両手にバケツ、雑巾を持っていたため左肩から転倒してしまった。

＜賠償事故＞

4月12日	家具リサイクル	リサイクル家具の洋ダンスを購入したお客様宅へ納品する際、玄関から納品できなかったので通路の窓を外し搬入したところ、部屋の中で受け取る時に後方にあった物に足を取られ壁にタンスを接触させてしまい穴をあけてしまった。

（安全管理委員会）

平成 27 年のボランティア活動報告（1 月～１２月）

	行　事　名	期　間	参加者	延参加者
田無駅踏切見守りボランティア	田無署独自　春の交通安全週間	3 月 16～20 日	29	199 名
	春の全国交通安全運動	5 月 11～20 日	47	
	田無署独自　夏の交通安全週間	7 月 13～17 日	29	
	春の全国交通安全運動	9 月 21～30 日	35	
	田無署独自　秋の交通安全週間	10 月 12～16 日	29	
	田無署独自　冬の交通安全週間	12 月 7～11 日	30	

	会　場	月　日	参加者	延参加者
地域合同パトロール	あらやしき公園	4 月 29 日　午前	44	104 名
	田無庁舎前広場	10 月 14 日　午後	60	

	主催	月　日	参加者	延参加者
統一美化キャンペーン（ごみゼロ運動）	西東京市	5 月 31 日（地域班 35 班）	501	970 名
	高齢者クラブ	9 月 27 日（同上）	469	

ご協力ありがとうございました　（ボランティア委員会）

声（こえ）

シニアも　キョウヨウ と キョウイク、そして「おもてなし」

いつまでに終わらせなければならないこともなく、特にやる用もない。外が明るくなれば起き、腹が減ったら食べ、新聞を見ながら、日暮れて暗くなればテレビを見ながら夕食をとり、眠くなれば布団に入る。まさに束縛のない自由な時間の生活である。何の刺激もないから体は疲れない。運動もしないから食欲もわかない、寝付きも悪い。そういえばこの頃食べ物が喉にひっかかる気がする。のどの筋肉が衰えたらしい。そう考えると寝るとき呼吸が気になる。余計なことを考えるから不安が増幅する。これが「退職すれば時間も十分あって他人に気を遣う必要もなければ誰かからも指図されず、好きなことが思いきりでき、楽しい第２の人生が待っていると期待していた」退職２年目の現実であった。

そんな時、センターのチラシが新聞に折り込まれていて、何気なく説明会に行ってみた。希望する仕事も記さない、名前だけの会員であった。そんな会員にも班会議の連絡は来る。班会議に出てみるとそこにはいろいろの人たちとの出会い、があった。３年目になった今年、市内の東西南北６か所で放射線量の測定の仕事を依頼された。西東京市に住んで21年目、仕事通してやっと市内の様子を実感することができるようになった。

しだいに「今日は放射線量の測定の用事で、田無市民公園へ午後1時に行かねばならぬ」「明日は9時から『ひばりアム』でテニスやる予定になっている」「そのために予めトレーニングやっておこうと思う」「そしてもっと楽しく、もっと上達したいと思う」。

今日用（キョウヨウ）があって、今日行く（キョウイク）ところがある。なぜか身体も以前に増して調子が良い。食欲も出て、熟睡もでき、会話も弾む。そんな9月のある日、いつものように班会議の通知がきた。

班会議では先ず班長が連絡事項を一通り説明した後、20名程度の出席者が受け持ちの仕事の説明や要望など出しあう。「駅前の放置自転車何とかならないの」とか、「今年の夏は雨の日が多く、大変だった」とか、「特に市報の配達など濡れると困るので市の方で何とかして欲しい」など話が弾む。そんなとき、ある方がおもむろに、『私は雨の日に配達される新聞のビニール袋をとっておき、それに市報を入れて配達しています』「それは大変でしょう」「袋が足らなくなりませんか」などいろいろ意見は出る。が、その方はさりげなく『大したことではありません。家のビニール袋も片付きますし、市報は月1回か2回程度ですから』と。「受け取った方から感謝されませんか」、「大変ですね」、その方曰く『大部分の方は黙っていますが、ある時突然言われたりすることが有るんです。こちらもびっくりしますが、覚えているんですね、嬉しいことは。そんなとき私の心も少し暖かくなります』と。

今、「おもてなし」の心が脚光を浴びている。他人事の様に思っていたが身の回りにもあるものである。相手に感謝され、自分も幸せを感じることで元気がでる。そんな生活を明日から心掛けていきたい。

（泉町１　国眼孝雄）

田無警察署より感謝状

昨年12月1日、田無駅踏切見守りなど日頃のセンターのボランティア活動に対し、交通警察活動に積極的に協力され、交通の安全と円滑の確保に多大な貢献をされた、として田無警察署より秋の全国交通安全運動にあたり、感謝状の表彰を受けました。これからも、会員一丸となって交通事故の撲滅に努めてまいります。

27年の田無駅踏切見守りボランティア活動は、春秋の全国交通安全運動期間中と田無警察署の春夏秋冬の交通安全週間に、年6回34日間実施しました。199名の会員が参加しました。

冬の週間初日、１０時の開始前の関係者

五行歌

初日の出
鳩も飛び立つ
お・お　そら見よ
陽が落ちて
波を枕に旅の宿

人生を
苦しきかなと思う時
つま先高く腕ふって
笑って歩いて
まだ青春　永遠に青春

初夢か　タンゴの音（リズム）
すべてをさらけライトの中で
笑ったり、泣いたり
スポットライトはやがて消え
私は舞台の袖に去る

（南町　平山　紀美子）

東京マラソンのボランティア募集

日　時　：　２８年２月２８日（日）
場　所　：　メイン会場・有明ほか
内　容　：　ごみの分別廃棄
　　観客整理ほか
締切日　：　２８年１月１８日（月）

活動される方は
事務局までご連絡ください

サークル掲示板

歩く会
第110回　2月11日（祝・木）
南千住から北千住へ歴史を訪ねる
池袋駅山手線上野方面行ホーム
（目白寄り）　9時半
第111回　3月27日（日）
歴史の街　拝島をめぐる
西武新宿線小平駅ホーム
待合室付近　9時
＊問合せは四六六・三七三七
大沢リーダーまで

カラオケＳＫＡ（おあしす）
＊入会希望者は四六五・八三四二
岸リーダーまで

碁友会（ルピナス）
1月19日
2月2・9・16日
3月1・8・15・29日
毎週火曜日9時～12時
（第4は休み）

配分金の振込み日は

12月就業分　1月15日（金）
1月就業分　2月15日（月）
2月就業分　3月15日（火）

事業実施状況

平成２７年 10月分	受託件数	就業実人員	契約金額 合計	契約金額 比率	契約金額 前年同月比（%）	就業率（%）	
公共事業	52		26,552,367	56.5	103.7	男	73.0
民間事業等	608		20,433,192	43.5	92.2	女	70.7
合　計	660	889	46,985,559	100.0	98.4	計	72.2

平成２７年 11月分	受託件数	就業実人員	契約金額 合計	契約金額 比率	契約金額 前年同月比（%）	就業率（%）	
公共事業	52		25,630,721	53.2	100.3	男	73.1
民間事業等	576		22,530,814	46.8	102.0	女	71.9
合　計	628	899	48,161,535	100.0	101.1	計	72.7

会員総数

男性　八一九名
女性　四二八名
合計　一、二四七名
（12月21日現在）

写真　左より
後列：
　鈴木さん、井砂主任、林田主任、本橋主事
前列：山田次長、村野局長、下田次長

事務局一同

今年もよろしくお願いいたします

当面の行事予定表

行　事	開　催　日
入会説明会	1月15日（金）、2月16日（火）
会員新年会	1月16日（土）午後　シチズン時計
新入会員面接	1月20日（水）、2月22日（月）
交代要員面接	1月２５日（月）～２９日（金）
理事会	1月27日（水）、2月24日（水）
新入会員研修	2月3日（水）、3月4日（金）
第4回 地域班長会議	2月12日（金）　別記
女性部会 布ぞうり講習会	3月5日（土）・12日（土）
交代要員研修	3月下旬

シニアのためのパソコン教室

＊平成 28 年 2 月～3 月講座日程＊

講 座 名	開 催 日	申込期限
無料講座	2 月 4 日(木)午後 1 時～	1 月 26 日
入門講座	2 月 5･12･19･26 日午前 4 回	1 月 26 日
活用講座	2 月 5･12･19･26 日午後	10 日前
ﾜｰﾄﾞ初級	2 月 2･9･16･23 日午前 4 回	1 月 22 日
ｴｸｾﾙ初級	2 月 2･9･16･23 日午後 4 回	1 月 22 日
実用講座	2 月 18 日(木)午後	10 日前
よろず相談室	2 月 18 日(木)午前	10 日前
無料講座	3 月 1 日(火)午後 1 時～	2 月 19 日
入門講座	3 月 4･11･18･25 日午前 4 回	2 月 22 日
活用講座	3 月 4･11･18･25 日午後	10 日前
ﾜｰﾄﾞ初級	3 月 8･15･22･29 日午前 4 回	2 月 26 日
ｴｸｾﾙ初級	3 月 8･15･22･29 日午後 4 回	2 月 26 日
実用講座	3 月 3･17 日(木)午後	10 日前
よろず相談室	3 月 3･17 日(木)午前	10 日前

詳細は下記へ資料をご請求ください
宛先：西東京市シルバー人材センター　パソコン班、
〒202-0021　東伏見6-1-36　℡　042-425-6611
「実用講座」及び「よろず相談室」（有料）の詳細、申し込み方法は下記ホームページ・パソコン教室をご覧ください。
http://www.sjc.ne.jp/wtokyo1/P_pasokon.htm

【２７年の女性部会活動】

「和洋服のリフォーム」はセンターの事業運営室で毎週火・木曜日、「華工房」は土曜日に西原作業所で活動しています。
「和洋服のリフォーム」は確かな技術で好評を得ており、「華工房」は一年間丹精込めて制作した手芸品やリフォーム品等を１０月の市民文化祭に展示し、１１月の市民まつりには精力的に販売しています。昨秋の市民まつりの初日は小雨模様にもかかわらず常連さん等多くの市民の皆様にご来場いただきました。また公益法人としての大きな活動は、市民向けに部会員が講師となり２月に「ジィーンズから袋物を」、６月には「布ぞうりの制作」、１２月には「毛糸の帽子制作」の講習会をエコプラザで無料開催し、各２０名前後の方が参加されています。（「布ぞうり制作」講習会は、２８年も早速に３月に実施します：上表参照）
「華工房」も「リフォーム」も、事業としての活動ですので経験豊富な会員が多く入会されることが女性部会の発展に繋がっていくことと思っております。

編集後記

会員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと存じます。
今年は、新理事、新正・副地域班長の皆さまから「年頭にあたって」のメッセージをお寄せいただき、特集を組みました。限られた字数のなかでご苦労されたことと思いますが、簡潔にまとめられた文才に感服しきりです。
原稿執筆いただきました丸山浩一名誉会長をはじめ、多くの会員の皆さまに、そして表紙写真に応募いただきました会員に厚くお礼申し上げます。
この新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年になりますように。
（広報部会）